

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	中区もえぎ			
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 21 日		～	2025 年 11 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025 年 11 月 21 日		～	2025 年 11 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 12 月 1 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者さまのことを十分に理解し、特性等に応じた専門性のある支援を提供することが出来ている。	教員や理学療法士・保育士などの資格を持った指導員が多数在籍していることで、多角的な視点で支援が提供出来るよう取り組んでいる。	定期的に、専門職員の連絡会を行うことで多職種間で専門知識の共有を図る。
2	定期的に保護者さまと面談を行うことで、利用者さまのことを十分理解し利用者さま・保護者さまどちらのニーズにも対応した支援計画が作成されている。	定期面談だけでなく、送迎時などの少しの時間でも保護者さまとお話するよう意識している。	より気兼ね無く、ご連絡頂けるように親子参加の活動を回数を増やして実施していけるよう企画する。
3	日頃の活動プログラムが固定化されないように、社員だけでなく非常勤も交えて話し合い決定するように努めている。	職員だけでなく、利用者さまからの意見も取り入れることでマンネリ化すること無くプログラムが立案されるよう取り組んでいる。	利用者さまだけでなく、保護者さまからのご意見も参考に出来るようアンケートなどを実施出来るよう企画する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	無料体験会などの交流会が、保護者さま同士の交流やきょうだい児の交流の場であるということが十分に発信されていない。	無料体験会＝新規の利用者さま向け、という印象が強いのではないかと。	無料体験会のお知らせに、既存の利用保護者さまの交流の場でもあるということが分かるような文言を追加する。
2	定期的にHUGやHP・SNS等で活動概要や行事の予定を発信しているが、その事自体保護者さまに情報が行き渡っていない。	SNSやHPなどの存在を知らない保護者さまが多い。	毎日の活動の様子は法人が利用しているアプリを使って配信されていることを、今一度お便りなどで発信する。 アプリの使い方や不明点などがないか、面談時などに聞き取りを行う。
3	事業所の支援に満足しているが、利用者さまが通所を楽しみにしているかどうか把握できていない保護者さまがいる。	利用者さまが楽しんで通っているという発信が、保護者さまに対して不十分な可能性がある。	法人が使用しているアプリを使って、毎日発信は行っているが閲覧率を確認すると過半数の保護者さまが見れていないため操作手順などについて今一度不明点がないか確認する必要がある。